**令和6年度　総社市つどいの広場事業（山手会場）業務委託　事業（案）**

１．子育て親子の交流と場の提供と交流の促進

　　山手保健センターつどいのひろば

　　スタッフの人数

保育士4名　保健師２名　助産師2名　社会福祉士１名　小学校教諭１名（産休予定）

①つどいの広場　ちびっこひろばの開催

開設日数　月曜日～金曜日の週５日　開設時間　９:３０～１６：００

年間開所予定日数　　226日　　月平均　18.8　日

２．子育てに関する相談、援助の実施

保健師相談日　　１年　100　日　　　　　助産師相談日　　１年　50　日

にこにこ訪問　　スマイル訪問　託児支援

３．子育て及び子育て支援に関する講習会の実施

①赤ちゃんタイムの開催　（毎月第４木曜日）

②プレママタイムの開催　（毎月第２火曜日）

③親子体操　　　　　　　（年　４回）

④性教育講座　　　　　　（年　４回）

⑤ママ先生による講習会　（年　８回）　エンパワメント事業

⑥食育プログラム　　　　（年　１2回）　毎月ポスターの掲示

⑦親育ち講座

・赤ちゃんサロン　　　　　（年　2回）・子育て座談会　（年　10回　）

・親育ち応援学習プログラム（年　１回　）・子育て講習会　（年　6回　）

・ノ―バディーイズﾊﾟｰﾌｪｸﾄプログラム（ＮＰ）（全６回　）

・プレ幼稚園（全4回）

⑧市との連携

　　・市栄養士による栄養指導内容についての助言指導（随時）講座（１回）食育会議（２回）

　　・市の保健師に気になる子について相談（随時）カンガルー広場（月１回）つどいらっこオープン（２回）

　　・チュッピーこどもまつり　　　・幼稚園・保育園説明会（１回）

４．地域子育て力を高める取り組み

①外あそびの日の開催　（毎月２－３回不定期）　年間参加組数　３２３　組

（地域の主要公園への出張ひろば）

②愛育委員会との連携　（赤ちゃんタイムにて）

③栄養委員会との協働　（年　２回）

④山手支援センターとの協働（年　３回）

⑤親子クラブとの連携　　運営のための相談（たんぽぽ・キリン・ライオン・わかば）

行事の協働（たんぽぽクラブ年　２回）入会用紙の設置

⑥お話ボランティア　　（年　１２回）　年間参加組数　　延　１１１組(スタッフと利用者さん)

⑦地域施設との協働　　・歯科衛生士（山手グリーン歯科）さんによる歯のお話（１回）

・お魚屋さん（平商店）がやってくる

・地域づくり協議会（健康福祉フェア）出張ひろばとして参加

⑧祖父母利用者数　　　（延１０２　名）

５．特別支援対応加算事業

　　すくすくほっと相談　（毎週月・木曜日）　年間開催日数

　　ＰＥＣ　　　　　　　（毎月第１木曜日）　５月～３月　　　10回/年

　　発達支援研修　　　　（年　１　回　広場研修）　プチペアトレ（全3回×2回　）

　　　親子教室研修会　　親子教室　zoom研修参加　見学

６．利用者のエンパワメント

・読み聞かせ

・広場内図書（雪舟文庫）のママボラ管理

・ママ先生による講習会

コサージュ、絵本の読み聞かせ、ママコンサート、手作りおもちゃ、工作　ダンス等

７．子育て支援団体等との連携・協働事業

・なかよし広場こっこ・ぴよこっこ・チュッピーひろばとの連携

・県大子育てカレッジ実行委員会参加　　・岡山子育てネットワーク

・おかやま地域子育て支援拠点ネットワーク　　・ＮＰＯ法人子育てひろば全国連絡協議会

・愛育委員会　　・栄養委員会　　・山手福祉センター　　・山手ふれあいセンター

・地域子育てボランティア育成(ちびボラの育成)

・山手健康福祉フェアー参加　出張ひろば

８．研修会への積極的な参加

・子育てひろば全国連絡協議会　全国大会

・子育てひろば全国連絡協議会　初任者研修会（オンライン）

・なかまほいく（オンライン）・ペアトレ

今後の方針

特別支援対応のプチぺアトレや、ママ発信の事業の充実と、ちびボラの育成に力を入れ、伴奏型支援と循環型支援を行っていきたい。

保護者の変容によるニーズの変化について行けるよう、リサーチしながら、『今時の育児』への関心とアンテナを巡らせながら、支援の方向性を検討していきたい。